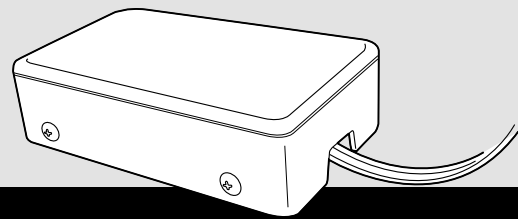


タイマー / コントローラーオプション
コード短絡専用ブレーカ

取扱説明書



このたびは、タイマー / コントローラーオプション、コード短絡専用ブレーカをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

1.安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

<p>警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。</p> <p>注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定される」内容です。</p>	<p>禁止 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。</p> <p>強制 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。</p>
--	--

警告 修理・分解・改造をしないでください。
取付工事および電気工事は「電気設備技術基準」「内線規程」に基づいて専門工事店が行ってください。

禁止 床下・天井裏換気扇用タイマー/コントローラーの専用オプションです。他の用途には絶対に使用しないでください。

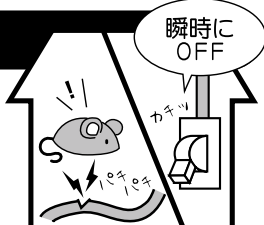
施工上のご注意

- 専用ブレーカのコードを強く引っ張らないでください。接続不良による発熱や発火の原因になります。
- 施工時、機器内部に異物（電線クズや壁材など）が入らないようにしてください。
- 施工点検時は必ず主電源を切ってください。
- 次の場所には設置しないでください。

○温度変化が激しい場所 ○電気ノイズが強い場所 ○金属片や粉塵が多い場所 ○高温多湿になる場所 ○水滴が当たる場所
○-10℃以下、+50℃以上の場所 ○振動や衝撃が激しい場所 ○亜硫酸ガスやアンモニアなど腐食性ガスのある場所

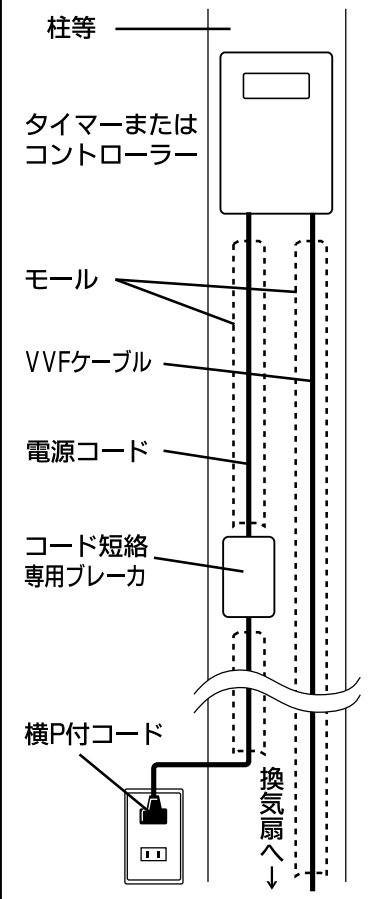
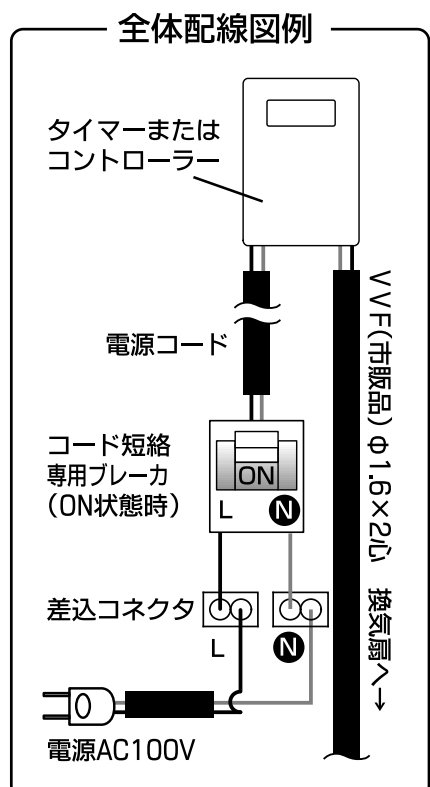
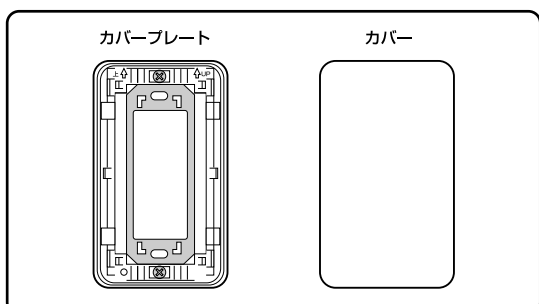
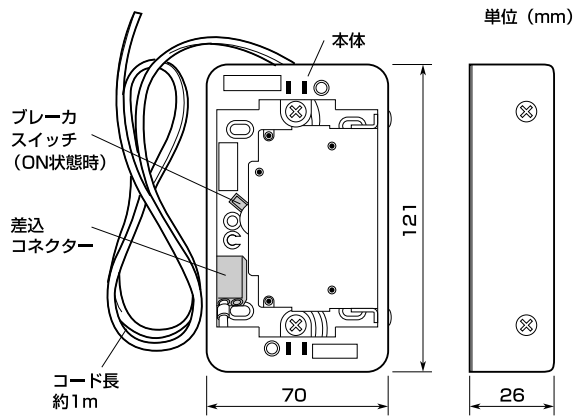
2.製品概要

専用ブレーカから換気扇までの電源コードで短絡発生時に従来の安全ブレーカでは、動作しにくい低い電流レベルにおいても回路を高速遮断する専用ブレーカです。比較的小さなショートでの火花発生時に高速遮断します。



タイマーまたはコントローラーは操作しやすい高さに取り付けてください。

3.各部の名称と寸法



4.配線および結線方法

タイマーまたはコントローラー付属のプラグ付コードの間に追加して使用します。

※配線終了後結線が正しいことを十分確認した上で最後にプラグをコンセントに差し込んでください。

① タイマーまたはコントローラー付属のプラグ付コードを任意の長さでカットし10±1mm電線を段剥きし、棒形圧着端子を取り付け圧着します。

② 市販の電検ドライバー等で電源極性を確認してください。接地極側に電検ドライバーを接触しても柄の内部のネオン管は発光しません。※接地極側にN側を接続します。

注意 ●必ず電源極性を確認してください。
※正しく接続しないと正常に動作しません。

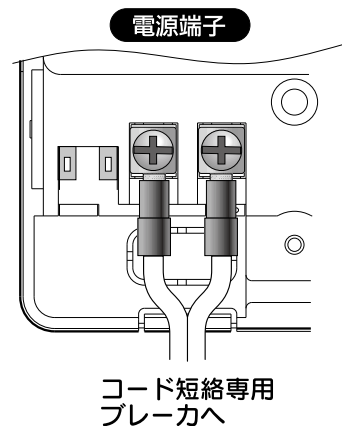
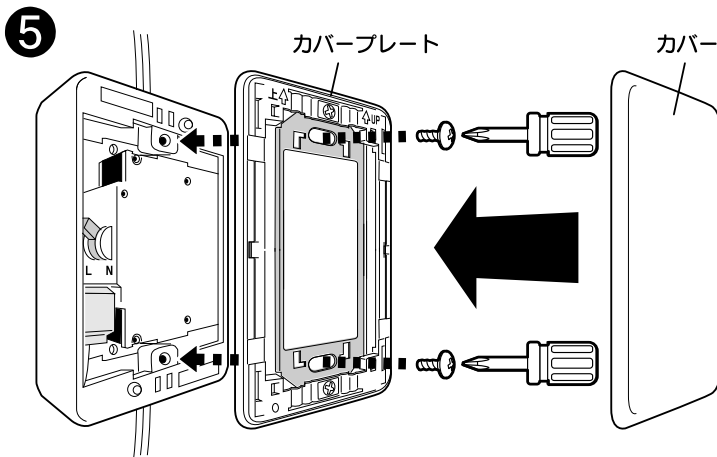
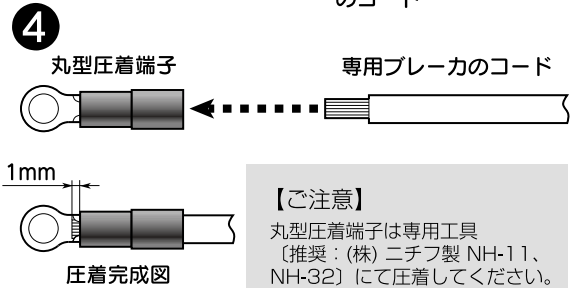
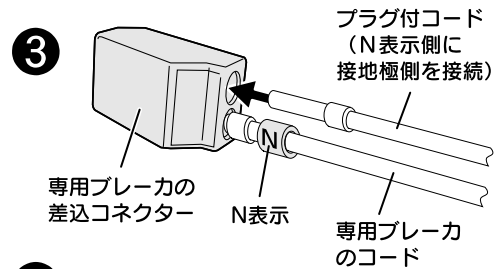
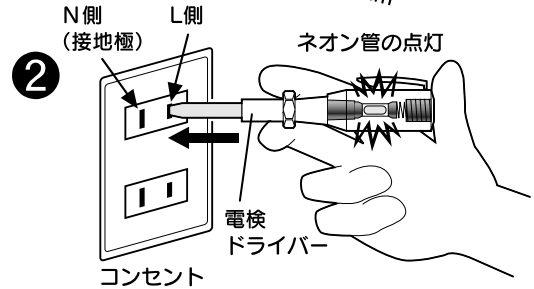
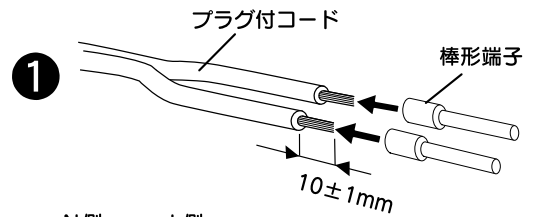
③ 棒形端子を取り付けたコードを専用ブレーカの差込コネクタに棒形端子の先端が突き当たるまで強く挿入してください。

④ 専用ブレーカのコードを任意の長さでカットし10±1mm電線を段剥きし、丸型圧着端子を取り付け圧着します。
※電線の皮むき長さは端子筒部より1mm出るようにしてください。

⑤ ブレーカスイッチを「ON」にし、カバープレートを取り付けてください。

⑥ 結線が正しいことを十分に確認し、専用ブレーカのN表示側がコンセントの接地極側になるようにプラグを差し込み、カバーをはめ込んでください。

※タイマーまたはコントローラーの取扱説明書もよくお読みになり正しく取り付けてください。



5.取扱上のご注意

- 端子部にはさわらない～感電の原因になります～
- 点検や修理は施工店へ依頼する（この説明書を提示する）～不良工事は感電や火災の原因になります～
- 施工店へ5年に1回程度、端子ネジのゆるみがないか点検の依頼をすることをおすすめします。
～端子ネジのゆるみは発熱・火災の原因になります～
- ブレーカが「OFF」になった時は、原因を取り除いてから「ON」にしてください。再挿入「ON」後、即動作する時は負荷回路が短絡状態か、何らかの異常が考えられます。施工店へ点検を依頼してください。
- ブレーカの状態を確認する場合はカバーを外してスイッチの状態を確認してください。